

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		認知症の重症化や高齢化等によって自律歩行が困難となって車イスを使用する利用者が大半を占める現状があり、また、職員の高齢化もあって火災や最近多発する自然災害、特に夜間帯の災害時の機動力、対応力に対する不安が払拭できていない様に見られてしまう。	火災や地震、大雨や台風による水害に備えて避難計画や避難マニュアルを見直して災害に備えているが、職員の機動力および対応力の強化、さらに、より緻密な職員の連絡網の整備が必要と思われ、また機動力に優れた若手職員の増強も目標とする。	当施設は海から約4km、栗山川まで100mと近く、どうしても危険地域に見えてしまうが、実際には津波や水害を受ける恐れのある地域ではないことを周知すると共に、万が一に対する備えは怠らず、避難計画や避難マニュアルの不断の見直しと訓練によって払拭して行く。	24ヶ月
2		職員の高齢化と高齢化に伴う機動力の低下、および機動力とスキルに優れた若手職員の不足と、それによる全体のモチベーションを維持することの難しさが見られる。	高齢の職員にはそれなりのスキルがあっても得難いが、魅力ある職場として地域の皆様に認識していただける様、情報の発信と共に様々な企画で「グループホーム光グループ」を見て頂き、参加して頂くことで雇用に繋げることを目標とする。	一朝一夕に解決できる問題では無いと思われ、長期的な取り組みで解決を目指して行きたいと考えているが、新たな展開を必要としているのでは無いかも考えており、いくつかの案はあるが、現在のその試行・模索を進める。	24ヶ月
3		地理的な要因もあり、地域との連携や外部機関との連携に不足があると感じている。また、事業運営管理や従業者の研修に関する記録など、各種の記録の整備が遅れ、延び延びになっている現状がある。	積極的に外部機関との連携を図る努力を行って行くと共に記録のための整備を行う。また、遅れている記録のための書式整備を優先的に行って行くことを目標とする。	一気に解決しようと思うことが、なかなか解決に繋がらなくなっている様に思われる。まずは出来るところから、一歩ずつ記録のための書式整備とそれを研修に用いて実践使用する様に進めて行く。	6ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。